



令和6年9月27日

内航海運モーダルシフトセミナー（参加申込締切の延長）

日本内航海運組合総連合会は、10月11日に東京都千代田区の新大塚2-1-1海運クラブ2階ホールで内航海運モーダルシフトセミナーを開催します（WEB配信併用）。流通経済大学の矢野裕児教授が基調講演するほか、今春に「海運モーダルシフト大賞」を受賞した荷主・物流事業者による事例紹介、物流コンサルタント、行政による講演などを企画。後半に矢野教授をコーディネーターに海運モーダルシフトを進めている荷主、物流事業者、物流コンサルタント、内航船社が登壇するパネルディスカッションを行います。現在、参加申し込みをWebで受け付けておりますが、締め切りを延長することとなりました。（オンライン参加10/4、会場参加〈当日まで〉）

今年4月からトラックドライバーの労働時間が厳格化されました。それにとまなうトラックの輸送力不足（いわゆる2024年問題）が懸念されており、内航海運業界は環境問題への対応なども含めて国内物流の維持に向けたモーダルシフトの受け皿として役割を果たしていくことが期待されております。

本セミナーでは、2024年問題への対応策として注目される、内航海運へのモーダルシフトの可能性について、学識経験者や荷主、専門家による講演、パネルディスカッションを通じて掘り下げてまいります。内航海運へのモーダルシフトに関心がある荷主、物流事業者が内航船を活用した輸送をどのように進めるかを知る機会となりますので、ぜひご参加ください。

タイトル:トラックから内航海運へのモーダルシフトの可能性
日時:2024(令和6)年10月11日(金) 13:30~16:30(開場13:00)
開催方式:会場、WEB生配信でのハイブリッド開催
(会場のみ先着200人限定となります)。
開催場所:東京都千代田区平河町2-6-4 海運ビル2階
海運クラブ2階ホール
参加費:無料
申し込み用アドレス:<https://naiko-web.site/modalshift/>
申し込み締め切り:オンライン参加 10/4<金>18:00まで
会場参加は当日まで。



参加申し込みページ

【プログラム】

第1部 13:30～

【基調講演】

流通経済大学教授 矢野 裕児氏

【荷主・物流事業者による船舶へのモーダルシフト事例紹介】

令和5年度海運モーダルシフト大賞受賞者

ダイキン工業株式会社
下関三井化学株式会社

【外部専門家による講演】

船井総研ロジ株式会社
チームリーダー 普勝 知宏氏

「荷主企業におけるモーダルシフトへの取組実態と課題」

【行政による講演】

国土交通省海事局

「海運モーダルシフト推進に向けた取組について」

第2部 15:20～

【パネルディスカッション】

「内航船を活用したモーダルシフトを進めるカギは」

《コーディネーター》

流通経済大学教授 矢野 裕児氏

《パネリスト》

令和5年度海運モーダルシフト大賞受賞者
ダイキン工業株式会社、下関三井化学株式会社、活材ケミカル株式会社

鈴与カーゴネット株式会社取締役営業本部 本部長
フェリー輸送事業本部 本部長
亀井 遊太氏

船井総研ロジ株式会社 チームリーダー 普勝 知宏氏

栗林商船株式会社代表取締役社長 栗林 宏吉氏

川崎近海汽船株式会社代表取締役社長 久下 豊氏

＜問い合わせ先＞

日本内航海運組合総連合会 企画調査部 鈴木、畑本
TEL 03-3263-4630